

問題 1

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「理想気体」の説明として最も適切なものはどれか。
1. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
 2. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
 3. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
 4. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量

解答・解説

正解：1. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
正解は「理想気体」。理想気体は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 2

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の説明に該当する用語はどれか。「分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル」
1. 状態方程式
 2. 理想気体
 3. シャルルの法則
 4. 理論空気量

解答・解説

正解：2. 理想気体
正解は「理想気体」。理想気体は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 3

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で「分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル」という意味をもつ概念はどれか。

- 1. 状態方程式
- 2. シャルルの法則
- 3. 理想気体
- 4. 理論空気量

解答・解説

正解：3. 理想気体
正解は「理想気体」。理想気体は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 4

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で扱う「理想気体」について、中心的な意味として適切なものはどれか。

- 1. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
- 2. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
- 3. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
- 4. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル

解答・解説

正解：4. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
正解は「理想気体」。理想気体は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 5

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】実務・試験上、「分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル」に最も直接対応する用語はどれか。

- 1. 理想気体
- 2. 状態方程式
- 3. シャルルの法則
- 4. 理論空気量

解答・解説

正解：1. 理想気体

正解は「理想気体」。理想気体は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 6

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の機能・特徴を表すものを選べ。「分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル」

- 1. 状態方程式
- 2. 理想気体
- 3. シャルルの法則
- 4. 理論空気量

解答・解説

正解：2. 理想気体

正解は「理想気体」。理想気体は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 7

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「理想気体」を確認する。定義・役割として最も直接対応するものはどれか。
1. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
 2. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
 3. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
 4. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量

解答・解説

正解：3. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
正解は「理想気体」。理想気体は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 8

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。
1. 状態方程式
 2. シャルルの法則
 3. 理論空気量
 4. 理想気体

解答・解説

正解：4. 理想気体
正解は「理想気体」。理想気体は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 9

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の学習で「理想気体」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。
1. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
 2. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
 3. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
 4. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量

解答・解説

正解：1. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
正解は「理想気体」。理想気体は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 10

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の基本事項として、「分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル」を表す用語はどれか。
1. 状態方程式
 2. 理想気体
 3. シャルルの法則
 4. 理論空気量

解答・解説

正解：2. 理想気体
正解は「理想気体」。理想気体は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 11

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の記述は正しいか。「理想気体」は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「理想気体」は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。周辺概念と「何を対象にし、何を實現するか」で区別しましょう。

問題 12

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】○×問題。「理想気体」について「一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係」という説明は正しい。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「理想気体」は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。問題文は「ボイルの法則」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を實現するか」で区別しましょう。

問題 13

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の確認。「理想気体」に関する次の説明は正しいか。分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「理想気体」は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 14

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基本事項を確認する。「理想気体」は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「理想気体」は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。問題文は「熱力学第一法則」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 15

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「理想気体」について次の記述の正誤を判断せよ。分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「理想気体」は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 16

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「状態方程式」の説明として最も適切なものはどれか。
1. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
2. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
3. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
4. 単位時間に管路断面を通過する流体の量

解答・解説

正解：3. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
正解は「状態方程式」。状態方程式は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 17

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の説明に該当する用語はどれか。「圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式」

1. ボイルの法則
2. 熱力学第一法則
3. 流量
4. 状態方程式

解答・解説

正解：4. 状態方程式
正解は「状態方程式」。状態方程式は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 18

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で「圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式」という意味をもつ概念はどれか。

1. 状態方程式
2. ボイルの法則
3. 熱力学第一法則
4. 流量

解答・解説

正解：1. 状態方程式
正解は「状態方程式」。状態方程式は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 19

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で扱う「状態方程式」について、中心的な意味として適切なものはどれか。

1. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
2. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
3. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
4. 単位時間に管路断面を通過する流体の量

解答・解説

正解：2. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
正解は「状態方程式」。状態方程式は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 20

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】実務・試験上、「圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式」に最も直接対応する用語はどれか。

1. ボイルの法則
2. 熱力学第一法則
3. 状態方程式
4. 流量

解答・解説

正解：3. 状態方程式
正解は「状態方程式」。状態方程式は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 21

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の機能・特徴を表すものを選べ。「圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式」

1. ボイルの法則
2. 熱力学第一法則
3. 流量
4. 状態方程式

解答・解説

正解：4. 状態方程式
正解は「状態方程式」。状態方程式は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 22

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「状態方程式」を確認する。定義・役割として最も直接対応するものはどれか。

1. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
2. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
3. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
4. 単位時間に管路断面を通過する流体の量

解答・解説

正解：1. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
正解は「状態方程式」。状態方程式は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 23

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。

- 1. ボイルの法則
- 2. 状態方程式
- 3. 熱力学第一法則
- 4. 流量

解答・解説

正解：2. 状態方程式

正解は「状態方程式」。状態方程式は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 24

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の学習で「状態方程式」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

- 1. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
- 2. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
- 3. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
- 4. 単位時間に管路断面を通過する流体の量

解答・解説

正解：3. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式

正解は「状態方程式」。状態方程式は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 25

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の基本事項として、「圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式」を表す用語はどれか。

- 1. ボイルの法則
- 2. 熱力学第一法則
- 3. 流量
- 4. 状態方程式

解答・解説

正解：4. 状態方程式

正解は「状態方程式」。状態方程式は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 26

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の記述は正しいか。「状態方程式」は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。

- / ×

解答・解説

正解：×

×です。「状態方程式」は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。問題文は「ボイルの法則」に近い説明です。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 27

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】○×問題。「状態方程式」について「圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式」という説明は正しい。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「状態方程式」は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 28

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の確認。「状態方程式」に関する次の説明は正しいか。エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「状態方程式」は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。問題文は「熱力学第一法則」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 29

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基本事項を確認する。「状態方程式」は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「状態方程式」は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 30

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「状態方程式」について次の記述の正誤を判断せよ。燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「状態方程式」は、圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式。問題文は「理論空気量」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 31

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「ボイルの法則」の説明として最も適切なものはどれか。

- 1. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
- 2. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
- 3. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
- 4. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力

解答・解説

正解：1. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係

正解は「ボイルの法則」。ボイルの法則は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 32

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の説明に該当する用語はどれか。「一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係」

- 1. シャルルの法則
- 2. ボイルの法則
- 3. 燃焼反応
- 4. 圧力損失

解答・解説

正解：2. ボイルの法則

正解は「ボイルの法則」。ボイルの法則は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 33

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で「一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係」という意味をもつ概念はどれか。

1. シャルルの法則
2. 燃焼反応
3. ボイルの法則
4. 圧力損失

解答・解説

正解：3. ボイルの法則
正解は「ボイルの法則」。ボイルの法則は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 34

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で扱う「ボイルの法則」について、中心的な意味として適切なものはどれか。

1. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
2. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
3. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
4. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係

解答・解説

正解：4. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
正解は「ボイルの法則」。ボイルの法則は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 35

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】実務・試験上、「一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係」に最も直接対応する用語はどれか。

- 1. ボイルの法則
- 2. シャルルの法則
- 3. 燃焼反応
- 4. 圧力損失

解答・解説

正解：1. ボイルの法則

正解は「ボイルの法則」。ボイルの法則は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 36

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の機能・特徴を表すものを選べ。「一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係」

- 1. シャルルの法則
- 2. ボイルの法則
- 3. 燃焼反応
- 4. 圧力損失

解答・解説

正解：2. ボイルの法則

正解は「ボイルの法則」。ボイルの法則は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 37

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「ボイルの法則」を確認する。定義・役割として最も直接対応するものはどれか。
- 1. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
 - 2. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
 - 3. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
 - 4. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力

解答・解説

正解：3. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
正解は「ボイルの法則」。ボイルの法則は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 38

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。
- 1. シャルルの法則
 - 2. 燃焼反応
 - 3. 圧力損失
 - 4. ボイルの法則

解答・解説

正解：4. ボイルの法則
正解は「ボイルの法則」。ボイルの法則は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 39

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の学習で「ボイルの法則」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。
- 1. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
 - 2. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
 - 3. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
 - 4. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力

問題 40

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の基本事項として、「一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係」を表す用語はどれか。
- 1. シャルルの法則
 - 2. ボイルの法則
 - 3. 燃焼反応
 - 4. 圧力損失

解答・解説

正解：1. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
正解は「ボイルの法則」。ボイルの法則は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

解答・解説

正解：2. ボイルの法則
正解は「ボイルの法則」。ボイルの法則は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 41

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の記述は正しいか。「ボイルの法則」は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「ボイルの法則」は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 42

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】○×問題。「ボイルの法則」について「エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則」という説明は正しい。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「ボイルの法則」は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。問題文は「熱力学第一法則」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 43

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の確認。「ボイルの法則」に関する次の説明は正しいか。一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「ボイルの法則」は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 44

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基本事項を確認する。「ボイルの法則」は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「ボイルの法則」は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。問題文は「理論空気量」に近い説明です。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 45

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「ボイルの法則」について次の記述の正誤を判断せよ。一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「ボイルの法則」は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 46

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「シャルルの法則」の説明として最も適切なものはどれか。
1. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
2. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
3. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
4. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態

解答・解説

正解：3. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
正解は「シャルルの法則」。シャルルの法則は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 47

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の説明に該当する用語はどれか。「一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係」
1. 熱力学第一法則
 2. 理論空気量
 3. 熱伝導
 4. シャルルの法則

解答・解説

正解：4. シャルルの法則
正解は「シャルルの法則」。シャルルの法則は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 48

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で「一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係」という意味をもつ概念はどれか。
1. シャルルの法則
 2. 熱力学第一法則
 3. 理論空気量
 4. 熱伝導

解答・解説

正解：1. シャルルの法則
正解は「シャルルの法則」。シャルルの法則は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 49

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で扱う「シャルルの法則」について、中心的な意味として適切なものはどれか。

1. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
2. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
3. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
4. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態

解答・解説

正解：2. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
正解は「シャルルの法則」。シャルルの法則は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 50

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】実務・試験上、「一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係」に最も直接対応する用語はどれか。

1. 熱力学第一法則
2. 理論空気量
3. シャルルの法則
4. 熱伝導

解答・解説

正解：3. シャルルの法則
正解は「シャルルの法則」。シャルルの法則は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 51

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の機能・特徴を表すものを選べ。「一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係」
1. 熱力学第一法則
 2. 理論空気量
 3. 熱伝導
 4. シャルルの法則

解答・解説

正解：4. シャルルの法則
正解は「シャルルの法則」。シャルルの法則は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 52

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「シャルルの法則」を確認する。定義・役割として最も直接対応するものはどれか。
1. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
 2. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
 3. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
 4. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態

解答・解説

正解：1. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
正解は「シャルルの法則」。シャルルの法則は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 53

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。

- 1. 熱力学第一法則
- 2. シャルルの法則
- 3. 理論空気量
- 4. 熱伝導

解答・解説

正解：2. シャルルの法則

正解は「シャルルの法則」。シャルルの法則は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 54

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の学習で「シャルルの法則」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

- 1. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
- 2. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
- 3. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係
- 4. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態

解答・解説

正解：3. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係

正解は「シャルルの法則」。シャルルの法則は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 55

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の基本事項として、「一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係」を表す用語はどれか。

- 1. 熱力学第一法則
- 2. 理論空気量
- 3. 熱伝導
- 4. シャルルの法則

解答・解説

正解：4. シャルルの法則

正解は「シャルルの法則」。シャルルの法則は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 56

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の記述は正しいか。「シャルルの法則」は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。

- / ×

解答・解説

正解：×

×です。「シャルルの法則」は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。問題文は「熱力学第一法則」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 57

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】○×問題。「シャルルの法則」について「一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係」という説明は正しい。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「シャルルの法則」は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 58

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の確認。「シャルルの法則」に関する次の説明は正しいか。燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「シャルルの法則」は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。問題文は「理論空気量」に近い説明です。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 59

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基本事項を確認する。「シャルルの法則」は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「シャルルの法則」は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 60

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「シャルルの法則」について次の記述の正誤を判断せよ。流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「シャルルの法則」は、一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係。問題文は「圧力損失」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 61

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「熱力学第一法則」の説明として最も適切なものはどれか。
- 1. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
 - 2. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
 - 3. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
 - 4. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル

解答・解説

正解：1. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
正解は「熱力学第一法則」。熱力学第一法則は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 62

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の説明に該当する用語はどれか。「エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則」
- 1. 燃焼反応
 - 2. 熱力学第一法則
 - 3. 流量
 - 4. 理想気体

解答・解説

正解：2. 熱力学第一法則
正解は「熱力学第一法則」。熱力学第一法則は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 63

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で「エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則」という意味をもつ概念はどれか。

- 1. 燃焼反応
- 2. 流量
- 3. 熱力学第一法則
- 4. 理想気体

解答・解説

正解：3. 熱力学第一法則

正解は「熱力学第一法則」。熱力学第一法則は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 64

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で扱う「熱力学第一法則」について、中心的な意味として適切なものはどれか。

- 1. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
- 2. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
- 3. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
- 4. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則

解答・解説

正解：4. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則

正解は「熱力学第一法則」。熱力学第一法則は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 65

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】実務・試験上、「エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則」に最も直接対応する用語はどれか。

- 1. 熱力学第一法則
- 2. 燃焼反応
- 3. 流量
- 4. 理想気体

解答・解説

正解：1. 熱力学第一法則

正解は「熱力学第一法則」。熱力学第一法則は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 66

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の機能・特徴を表すものを選べ。「エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則」

- 1. 燃焼反応
- 2. 熱力学第一法則
- 3. 流量
- 4. 理想気体

解答・解説

正解：2. 熱力学第一法則

正解は「熱力学第一法則」。熱力学第一法則は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 67

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「熱力学第一法則」を確認する。定義・役割として最も直接対応するものはどれか。

1. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
2. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
3. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
4. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル

解答・解説

正解：3. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
正解は「熱力学第一法則」。熱力学第一法則は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 68

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。

1. 燃焼反応
2. 流量
3. 理想気体
4. 熱力学第一法則

解答・解説

正解：4. 熱力学第一法則
正解は「熱力学第一法則」。熱力学第一法則は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 69

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の学習で「熱力学第一法則」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

1. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
2. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
3. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
4. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル

解答・解説

正解：1. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
正解は「熱力学第一法則」。熱力学第一法則は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 70

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の基本事項として、「エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則」を表す用語はどれか。

1. 燃焼反応
2. 熱力学第一法則
3. 流量
4. 理想気体

解答・解説

正解：2. 熱力学第一法則
正解は「熱力学第一法則」。熱力学第一法則は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 71

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の記述は正しいか。「熱力学第一法則」は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「熱力学第一法則」は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 72

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】○×問題。「熱力学第一法則」について「燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量」という説明は正しい。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「熱力学第一法則」は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。問題文は「理論空気量」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 73

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の確認。「熱力学第一法則」に関する次の説明は正しいか。エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「熱力学第一法則」は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 74

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基本事項を確認する。「熱力学第一法則」は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「熱力学第一法則」は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。問題文は「圧力損失」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 75

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「熱力学第一法則」について次の記述の正誤を判断せよ。エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「熱力学第一法則」は、エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 76

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「燃焼反応」の説明として最も適切なものはどれか。
1. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
2. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
3. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
4. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式

解答・解説

正解：3. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
正解は「燃焼反応」。燃焼反応は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 77

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の説明に該当する用語はどれか。「燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応」

1. 理論空気量
2. 圧力損失
3. 状態方程式
4. 燃焼反応

解答・解説

正解：4. 燃焼反応
正解は「燃焼反応」。燃焼反応は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 78

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で「燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応」という意味をもつ概念はどれか。

1. 燃焼反応
2. 理論空気量
3. 圧力損失
4. 状態方程式

解答・解説

正解：1. 燃焼反応
正解は「燃焼反応」。燃焼反応は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 79

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で扱う「燃焼反応」について、中心的な意味として適切なものはどれか。
- 1. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
 - 2. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
 - 3. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
 - 4. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式

解答・解説

正解：2. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
正解は「燃焼反応」。燃焼反応は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 80

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】実務・試験上、「燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応」に最も直接対応する用語はどれか。
- 1. 理論空気量
 - 2. 圧力損失
 - 3. 燃焼反応
 - 4. 状態方程式

解答・解説

正解：3. 燃焼反応
正解は「燃焼反応」。燃焼反応は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 81

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の機能・特徴を表すものを選べ。「燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応」

1. 理論空気量
2. 圧力損失
3. 状態方程式
4. 燃焼反応

解答・解説

正解：4. 燃焼反応
正解は「燃焼反応」。燃焼反応は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 82

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「燃焼反応」を確認する。定義・役割として最も直接対応するものはどれか。

1. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
2. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
3. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
4. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式

解答・解説

正解：1. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
正解は「燃焼反応」。燃焼反応は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 83

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。

- 1. 理論空気量
- 2. 燃焼反応
- 3. 圧力損失
- 4. 状態方程式

解答・解説

正解：2. 燃焼反応
正解は「燃焼反応」。燃焼反応は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 84

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の学習で「燃焼反応」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

- 1. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
- 2. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
- 3. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
- 4. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式

解答・解説

正解：3. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応
正解は「燃焼反応」。燃焼反応は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 85

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の基本事項として、「燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応」を表す用語はどれか。

- 1. 理論空気量
- 2. 圧力損失
- 3. 状態方程式
- 4. 燃焼反応

解答・解説

正解：4. 燃焼反応

正解は「燃焼反応」。燃焼反応は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 86

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の記述は正しいか。「燃焼反応」は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。

- / ×

解答・解説

正解：×

×です。「燃焼反応」は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。問題文は「理論空気量」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 87

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】○×問題。「燃烧反応」について「燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応」という説明は正しい。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「燃烧反応」は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 88

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の確認。「燃烧反応」に関する次の説明は正しいか。流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「燃烧反応」は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。問題文は「圧力損失」に近い説明です。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 89

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基本事項を確認する。「燃烧反応」は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「燃烧反応」は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 90

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「燃烧反応」について次の記述の正誤を判断せよ。分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「燃烧反応」は、燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応。問題文は「理想気体」に近い説明です。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 91

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「理論空気量」の説明として最も適切なものはどれか。
1. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
 2. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
 3. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
 4. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係

解答・解説

正解：1. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
正解は「理論空気量」。理論空気量は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 92

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の説明に該当する用語はどれか。「燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量」
1. 流量
 2. 理論空気量
 3. 熱伝導
 4. ボイルの法則

解答・解説

正解：2. 理論空気量
正解は「理論空気量」。理論空気量は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 93

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で「燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量」という意味をもつ概念はどれか。

- 1. 流量
- 2. 熱伝導
- 3. 理論空気量
- 4. ボイルの法則

解答・解説

正解：3. 理論空気量

正解は「理論空気量」。理論空気量は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 94

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で扱う「理論空気量」について、中心的意味として適切なものはどれか。

- 1. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
- 2. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
- 3. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
- 4. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量

解答・解説

正解：4. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量

正解は「理論空気量」。理論空気量は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 95

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】実務・試験上、「燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量」に最も直接対応する用語はどれか。

- 1. 理論空気量
- 2. 流量
- 3. 熱伝導
- 4. ボイルの法則

解答・解説

正解：1. 理論空気量

正解は「理論空気量」。理論空気量は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 96

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の機能・特徴を表すものを選べ。「燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量」

- 1. 流量
- 2. 理論空気量
- 3. 熱伝導
- 4. ボイルの法則

解答・解説

正解：2. 理論空気量

正解は「理論空気量」。理論空気量は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 97

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「理論空気量」を確認する。定義・役割として最も直接対応するものはどれか。
1. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
 2. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
 3. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
 4. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係

解答・解説

正解：3. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
正解は「理論空気量」。理論空気量は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 98

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。
1. 流量
 2. 熱伝導
 3. ボイルの法則
 4. 理論空気量

解答・解説

正解：4. 理論空気量
正解は「理論空気量」。理論空気量は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 99

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の学習で「理論空気量」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。
- 1. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
 - 2. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
 - 3. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
 - 4. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係

解答・解説

正解：1. 燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量
正解は「理論空気量」。理論空気量は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 100

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の基本事項として、「燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量」を表す用語はどれか。
- 1. 流量
 - 2. 理論空気量
 - 3. 熱伝導
 - 4. ボイルの法則

解答・解説

正解：2. 理論空気量
正解は「理論空気量」。理論空気量は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 101

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の記述は正しいか。「理論空気量」は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「理論空気量」は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 102

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】○×問題。「理論空気量」について「流体が配管等を通る際に摩擦や局部抵抗で失う圧力」という説明は正しい。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「理論空気量」は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。問題文は「圧力損失」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 103

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の確認。「理論空気量」に関する次の説明は正しいか。燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「理論空気量」は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 104

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基本事項を確認する。「理論空気量」は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「理論空気量」は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。問題文は「理想気体」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 105

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「理論空気量」について次の記述の正誤を判断せよ。燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「理論空気量」は、燃料を完全燃焼させるため化学量論上必要な最小空気量。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 106

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「流量」の説明として最も適切なものはどれか。
1. 流体が配管等を通る際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
2. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
3. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
4. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係

解答・解説

正解：3. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
正解は「流量」。流量は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 107

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の説明に該当する用語はどれか。「単位時間に管路断面を通過する流体の量」

1. 圧力損失
2. 理想気体
3. シャルルの法則
4. 流量

解答・解説

正解：4. 流量
正解は「流量」。流量は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 108

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で「単位時間に管路断面を通過する流体の量」という意味をもつ概念はどれか。

1. 流量
2. 圧力損失
3. 理想気体
4. シャルルの法則

解答・解説

正解：1. 流量
正解は「流量」。流量は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 109

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で扱う「流量」について、中心的な意味として適切なものはどれか。
1. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
 2. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
 3. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
 4. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係

解答・解説

正解：2. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
正解は「流量」。流量は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 110

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】実務・試験上、「単位時間に管路断面を通過する流体の量」に最も直接対応する用語はどれか。
1. 圧力損失
 2. 理想気体
 3. 流量
 4. シャルルの法則

解答・解説

正解：3. 流量
正解は「流量」。流量は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 111

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の機能・特徴を表すものを選べ。「単位時間に管路断面を通過する流体の量」

1. 圧力損失
2. 理想気体
3. シャルルの法則
4. 流量

解答・解説

正解：4. 流量
正解は「流量」。流量は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 112

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「流量」を確認する。定義・役割として最も直接対応するものはどれか。

1. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
2. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
3. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
4. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係

解答・解説

正解：1. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
正解は「流量」。流量は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 113

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「単位時間に管路断面を通過する流体の量」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。

- 1. 圧力損失
- 2. 流量
- 3. 理想気体
- 4. シャルルの法則

解答・解説

正解：2. 流量
正解は「流量」。流量は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 114

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の学習で「流量」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

- 1. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
- 2. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
- 3. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
- 4. 一定圧力で一定量の気体体積が絶対温度に比例する関係

解答・解説

正解：3. 単位時間に管路断面を通過する流体の量
正解は「流量」。流量は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 115

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の基本事項として、「単位時間に管路断面を通過する流体の量」を表す用語はどれか。

1. 圧力損失
2. 理想気体
3. シャルルの法則
4. 流量

解答・解説

正解：4. 流量
正解は「流量」。流量は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 116

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の記述は正しいか。「流量」は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。

○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「流量」は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。問題文は「圧力損失」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 117

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】○×問題。「流量」について「単位時間に管路断面を通過する流体の量」という説明は正しい。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「流量」は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 118

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の確認。「流量」に関する次の説明は正しいか。分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「流量」は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。問題文は「理想気体」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 119

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基本事項を確認する。「流量」は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「流量」は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 120

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「流量」について次の記述の正誤を判断せよ。一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「流量」は、単位時間に管路断面を通過する流体の量。問題文は「ボイルの法則」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 121

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「圧力損失」の説明として最も適切なものはどれか。
1. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
 2. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
 3. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
 4. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則

解答・解説

正解：1. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
正解は「圧力損失」。圧力損失は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 122

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の説明に該当する用語はどれか。「流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力」
1. 熱伝導
 2. 圧力損失
 3. 状態方程式
 4. 熱力学第一法則

解答・解説

正解：2. 圧力損失
正解は「圧力損失」。圧力損失は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 123

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で「流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力」という意味をもつ概念はどれか。

- 1. 熱伝導
- 2. 状態方程式
- 3. 圧力損失
- 4. 熱力学第一法則

解答・解説

正解：3. 圧力損失

正解は「圧力損失」。圧力損失は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 124

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で扱う「圧力損失」について、中心的な意味として適切なものはどれか。

- 1. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
- 2. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
- 3. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則
- 4. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力

解答・解説

正解：4. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力

正解は「圧力損失」。圧力損失は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 125

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】実務・試験上、「流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力」に最も直接対応する用語はどれか。

- 1. 圧力損失
- 2. 熱伝導
- 3. 状態方程式
- 4. 熱力学第一法則

解答・解説

正解：1. 圧力損失

正解は「圧力損失」。圧力損失は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 126

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の機能・特徴を表すものを選び。「流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力」

- 1. 熱伝導
- 2. 圧力損失
- 3. 状態方程式
- 4. 熱力学第一法則

解答・解説

正解：2. 圧力損失

正解は「圧力損失」。圧力損失は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 127

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「圧力損失」を確認する。定義・役割として最も直接対応するものはどれか。
1. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
 2. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
 3. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
 4. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則

解答・解説

正解：3. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
正解は「圧力損失」。圧力損失は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 128

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。
1. 熱伝導
 2. 状態方程式
 3. 熱力学第一法則
 4. 圧力損失

解答・解説

正解：4. 圧力損失
正解は「圧力損失」。圧力損失は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 129

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の学習で「圧力損失」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。
1. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
 2. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
 3. 圧力・体積・温度・物質量の関係を表す気体の基本式
 4. エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則

解答・解説

正解：1. 流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力
正解は「圧力損失」。圧力損失は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 130

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の基本事項として、「流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力」を表す用語はどれか。
1. 熱伝導
 2. 圧力損失
 3. 状態方程式
 4. 熱力学第一法則

解答・解説

正解：2. 圧力損失
正解は「圧力損失」。圧力損失は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 131

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の記述は正しいか。「圧力損失」は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「圧力損失」は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 132

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】○×問題。「圧力損失」について「分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル」という説明は正しい。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「圧力損失」は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。問題文は「理想気体」に近い説明です。 周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 133

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の確認。「圧力損失」に関する次の説明は正しいか。流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「圧力損失」は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 134

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基本事項を確認する。「圧力損失」は、一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「圧力損失」は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。問題文は「ボイルの法則」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 135

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「圧力損失」について次の記述の正誤を判断せよ。流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「圧力損失」は、流体が配管等を流れる際に摩擦や局部抵抗で失う圧力。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 136

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「熱伝導」の説明として最も適切なものはどれか。
1. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
2. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
3. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
4. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応

解答・解説

正解：3. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
正解は「熱伝導」。熱伝導は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 137

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の説明に該当する用語はどれか。「物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態」

1. 理想気体
2. ボイルの法則
3. 燃焼反応
4. 熱伝導

解答・解説

正解：4. 熱伝導
正解は「熱伝導」。熱伝導は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 138

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で「物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態」という意味をもつ概念はどれか。

1. 熱伝導
2. 理想気体
3. ボイルの法則
4. 燃焼反応

解答・解説

正解：1. 熱伝導
正解は「熱伝導」。熱伝導は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 139

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論で扱う「熱伝導」について、中心的な意味として適切なものはどれか。
1. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
 2. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
 3. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
 4. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応

解答・解説

正解：2. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
正解は「熱伝導」。熱伝導は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 140

- 【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】実務・試験上、「物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態」に最も直接対応する用語はどれか。
1. 理想気体
 2. ボイルの法則
 3. 熱伝導
 4. 燃焼反応

解答・解説

正解：3. 熱伝導
正解は「熱伝導」。熱伝導は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 141

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の機能・特徴を表すものを選べ。「物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態」

1. 理想気体
2. ボイルの法則
3. 燃焼反応
4. 熱伝導

解答・解説

正解：4. 熱伝導
正解は「熱伝導」。熱伝導は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 142

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「熱伝導」を確認する。定義・役割として最も直接対応するものはどれか。

1. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
2. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
3. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
4. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応

解答・解説

正解：1. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
正解は「熱伝導」。熱伝導は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 143

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態」という説明から判断できる用語として最も適切なものはどれか。

- 1. 理想気体
- 2. 熱伝導
- 3. ボイルの法則
- 4. 燃焼反応

解答・解説

正解：2. 熱伝導

正解は「熱伝導」。熱伝導は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 144

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の学習で「熱伝導」と他の概念を区別する。正しい説明はどれか。

- 1. 分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル
- 2. 一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係
- 3. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態
- 4. 燃料が酸素と反応し熱を発生する酸化反応

解答・解説

正解：3. 物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態

正解は「熱伝導」。熱伝導は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 145

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の基本事項として、「物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態」を表す用語はどれか。

1. 理想気体
2. ボイルの法則
3. 燃焼反応
4. 熱伝導

解答・解説

正解：4. 熱伝導
正解は「熱伝導」。熱伝導は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。用語だけでなく、対象・目的・仕組みを結び付けて整理すると応用問題でも判断しやすくなります。

問題 146

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】次の記述は正しいか。「熱伝導」は、分子間力や分子体積を無視した理想化された気体モデル。

○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「熱伝導」は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。問題文は「理想気体」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 147

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】○×問題。「熱伝導」について「物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態」という説明は正しい。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「熱伝導」は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 148

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基礎理論の確認。「熱伝導」に関する次の説明は正しいか。一定温度で一定量の気体の圧力と体積の積が一定となる関係。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「熱伝導」は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。問題文は「ボイルの法則」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 149

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】基本事項を確認する。「熱伝導」は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。
○ / ×

解答・解説

正解：○
○です。「熱伝導」は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。

問題 150

【基礎理論】【ガス主任技術者 甲種】「熱伝導」について次の記述の正誤を判断せよ。エネルギー保存を熱と仕事の関係として表す法則。
○ / ×

解答・解説

正解：×
×です。「熱伝導」は、物質内部で温度差により熱が移動する伝熱形態。問題文は「熱力学第一法則」に近い説明です。周辺概念と「何を対象にし、何を実現するか」で区別しましょう。